問合せ先
環境課環境企画係　担当　合川
内線：2738
電話: 0739（26） 9927

令和８年 10 月 26 日

田辺市環境課
課長　島倉　祐而

本宮小学校における環境学習について

平素は、本市行政の推進につきまして多大なご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記について、本宮小学校第４学年において、「本宮にある温泉のヒミツをさぐれ!!―本宮の温泉から、自然と地域のつながりを感じる－」をテーマに、田辺市自然資源調査専門委員２名を講師として迎え、湯の峰温泉及び川湯温泉におけるフィールドワーク学習を下記のとおり実施します。本学習は、温泉の成り立ちや自然環境への理解を深めるとともに、温泉と地域の暮らしとの関わりや、自然と人とのつながりについて学ぶことをねらいとして実施する全８限の学習の一環として実施するものです。

つきましては、取材・報道方よろしくお願いいたします。

なお、詳細につきましては、別紙をご確認ください。

記

■日　　時　　令和８年 11 月２日（月）午前９時 25 分～午前 11 時 10 分
■場　　所　　湯の峰温泉、川湯温泉

未来へつながる道 田辺市
JUNCTION TO THE FUTURE
ともに歩こう。次の１０００年へ。

令和８年度 本宮小学校 環境学習

本宮にある温泉のヒミツをさぐれ!! ―本宮の温泉から、自然と地域のつながりを感じるー

１１月２日（月）湯の峰温泉・川湯温泉 フィールドワーク実施計画

１ 日時　令和８年１１月２日（月） 9:25～１１:１０（2・3限）

２ 場所　湯の峰温泉、川湯温泉

３ 対象　第４学年（9名） 教職員 ２名

４ 学習のねらい

湯の峰温泉と川湯温泉を実際に歩き、温度・pH・岩盤の割れ目を自分たちで調べる。川湯では河原をスコップで掘って温泉が湧く場所を探すなど、二つの温泉を比べながら、どちらも岩盤の割れ目に関係して温泉が湧いていること、川湯では川の水と温泉が混ざることで場所によって温度が異なることに気付き、「本宮で温泉が湧くのはなぜだろう」という次の学びにつながる疑問をもつ。

５ 当日のタイムテーブル（予定）

時刻	場所	活動内容	観察・学習のポイント
9:25	学校	学校を出発する。	注意事項を共有する。
9:25～ 9:35	移動	バスで湯の峰温泉へ向かう。	バスの中で、本時のめあてを確認する。
9:35～ 9:40	湯の峰温泉	ゆで卵を湯筒へ入れる。	ゆで卵が何分くらいでできるかを予想する。
9:40～ 9:55		岩盤の割れ目を観察する。 温度・pH を測定する。	温泉がどこから湧いているのかを、実際の湧出地点を見ながら確かめる。
9:55～ １0:00		卵を取り出す。 観察結果を共有する。	ゆで卵の仕上がりから高温の温泉の熱を実感し、 観察・測定結果を簡単に共有する。
１0:00～ １0:１0	移動	湯の峰温泉から川湯温泉へ	湯の峰で確かめた視点をもって次の場所を調べる。ゆで卵を食べる。
１0:１0～ １0:30	川湯温泉	・河原をスコップで掘り、 温泉が湧く場所を探す。 ・冷たい所・温かい所の 温度と pH を比較する。	自分たちで掘って温泉を探し、近い場所でも 温度や pH に違いがあるかを確かめる。
１0:30～ １0:50		橋を渡り、対岸の岩盤・割れ目を 観察し、触ってみる。	岩盤の温かさや割れ目を観察し、湯の峰との共通点を確かめる。
１0:50～ １１:00		観察結果を共有／移動準備	湯の峰温泉と川湯温泉の共通点と違いを整理する。 活動の遅れがある場合は、この時間で調整する。
１１:00～ １１:１0	移動	川湯温泉を出発し、学校に帰る。	バスの中で、本時のめあてを達成できたか振り返る。
１１:１0	学校	学校に到着する。	学校到着 １１:１0 予定。

※ 現地の状況や児童の調査の進み具合に応じて、各活動の時間は柔軟に調整する。第２時・大休憩・授業準備・第３時を、一続きの校外学習時間として使用する。

6　現地で行う主な活動

湯の峰温泉	川湯温泉
・岩盤の割れ目を観察する ・湯筒などで温度を測る ・pH 試験紙で温泉の性質を調べる ・湯筒でゆで卵を作り、高温の温泉の熱を実感する	・スコップで河原を掘り、温泉が湧く場所を探す ・川の冷たい所と温かい所を探し、温度を比べる ・冷たい所・温かい所の pH を比べる ・橋を渡って対岸の岩盤を観察する ・安全を確認した場所で岩盤の温かさを確かめる ・岩盤の割れ目を探す

7　参観・取材の主なポイント

・児童が説明を聞くだけではなく、「予想する → 探す → 測る → 比べる」という方法で、自分たちで温泉の特徴を確かめる。

・湯の峰では、岩盤の割れ目・高い温度・pH・ゆで卵作りを通して、自然に湧く高温泉を具体的に捉える。

・川湯では、スコップで河原を掘って温泉が湧く場所を探し、冷たい所と温かい所の温度・pH を比べた後、対岸の岩盤と割れ目を観察する。

・学習の中心は、二つの温泉の「共通点＝岩盤の割れ目に関係して湧くこと」と「違い＝川湯では川の水と混ざること」を、現地で確かめることにある。

共通点	違い
湯の峰・川湯とも、岩盤の割れ目に関係して温泉が湧いている。	川湯では、大塔川の川床・河原で温泉が湧き、 冷たい川の水と混ざっている。

8　安全面・運営上の留意事項

・高温の泉源には直接触れず、温度測定や採水は教員・講師の指示のもとで行う。pH は採水したものを安全に扱える状態で測定する。

・川湯では、スコップを使う範囲をあらかじめ確認し、周囲の児童と十分な間隔を取って活動する。

・川湯では川岸や岩盤が滑りやすいため、移動範囲をあらかじめ確認し、橋の往復を含め集団で移動する。

・岩盤に触れる活動は、安全が確認された場所に限る。

・講師の合流方法は、学校集合・バス同乗を基本案として最終確認する。

・報道取材については児童の安全と学習活動を優先し、現地で撮影位置・移動について案内する。